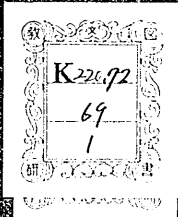


中等習字教科書

上



K220.72

69

1

弘道館編輯部編

中等習字教科書

上

玉  
淨書



上下午牛

上  
一

大夫木水

衣畏氏民

上  
二

戊戌己巳

九也兔兔

上  
三

句勿匍匐

國園廷延

赴趣遣遺

苦若筒答

上五

泰券譽覺

冰沫枝枝

綠錄歎歡



一善微ナリト雖モ日ニ養ウテ  
害セザレバ遂ニ其ノ徳ヲ成ス

上七

一惡小ナリト雖モ日ニ長ジテ  
除カザレバ遂ニ其ノ身ヲ喪フ

天地日月風

社  
八

雨寒暑晝夜

海陸山川湖

上九

沼原野島嶼

道廳府縣市

郡區町村字

君臣父子夫

婦兄弟朋友

仁義禮智信

喜怒哀樂慾

頭  
頸  
胸  
腹  
脚

上十三

耳  
目  
鼻  
口  
身

春風ヲ以テ人ニ接シ  
秋霜ヲ以テ自ラ肅ム

不義ニシテ富ミ且ツ貴  
キハ我ニ於テ浮雲ノ如シ



盛年不重来

上  
半  
年

一日難再晨

及時當勉勵

上十六

歲月不待人

春眠不覺曉

上十七

夜久聞啼鳥

夜來風雨聲

上十八

花落知多少

いろはにほへとちりぬるを  
わかよたれそつねならむ

うるのおくやまけふこえて  
あさきゆめみしゑひもせす

君が代も子代も  
八子代にまがれ石の  
巖となりて苔のむすまで

敷島のやまこぼさく人とは  
朝日ふ匂ふ山ざくら花

え朝や神代のこころも思はる

黄菊白菊その卵の名はなまがふ

中等習字教科書 上ノ卷

一善微ナリト雖モ日ニ養ウテ害セザレバ遂ニ其ノ徳ヲ成ス一惡小  
ナリト雖モ日ニ長ジテ除カザレバ遂ニ其ノ身ヲ喪フ(伊藤東涯)  
春風ヲ以テ人ニ接シ秋霜ヲ以テ自ラ肅ム(佐藤一齋)  
不義ニシテ富ミ且ツ貴キハ我ニ於テ浮雲ノ如シ(論語)  
盛年不重來。一日難再晨。及時當勉勵。歲月不待人。(陶淵明)  
春眠不覺曉。處々聞啼鳥。夜來風雨聲。花落知多少。(孟浩然)

君が代と千代に八千代にさゞれ石の巖となりて苔のむすまで(國歌)  
敷島のやまと心を人とはゞ朝日に匂ふ山ざくら花(本居宣長)  
元朝や神代のことと思はるゝ(荒木田守武)  
黄菊白菊その外の名はなくもが春(服部嵐雲)



Yonai

# 大正丙辰高秋

## 卷之三



江川八左衛門刻

大正五年十月廿二日 印刷  
大正五年十月廿五日 發行

定價各册金拾八錢

複製  
不許

編纂者 弘道館編輯部  
書者 玉木本三郎  
發行兼印刷者 辻本卯藏

發行所

東京市神田區北神保町十一番地  
振替口座東京八一五番

弘道館

